



学習を始める前に

さどがしま かんきょうもんだい

わたしたちの住む佐渡島の環境問題

わたしたちが住んでいる佐渡島は、どんな環境問題をかかえているのでしょうか。おもな問題をみてみましょう。

海の環境問題

佐渡島を取り巻いている海は、たくさんの魚や貝、海藻がとれるとても豊かな海です。しかし、外から流れてくる漂着ごみや、海の生きものの生態系を大きく変化させる磯焼けなど、さまざまな環境問題にさらされています。



磯焼け

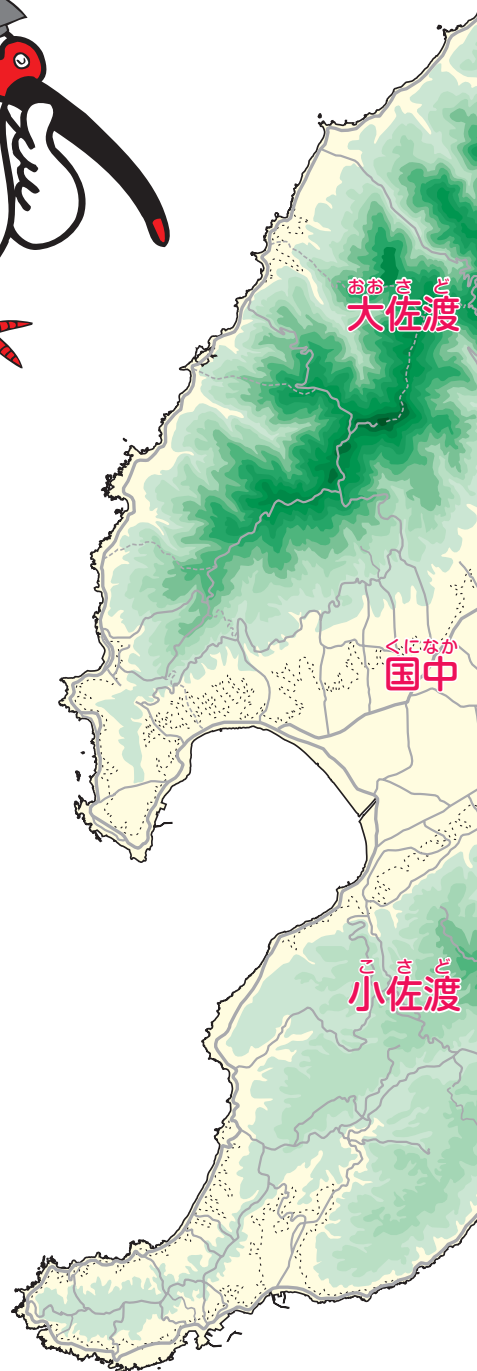
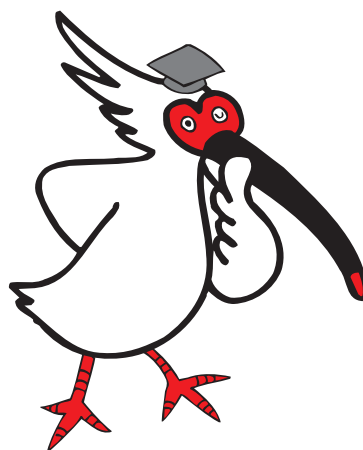
里山・棚田の荒廃

里山や棚田は、人間が生活のために手を入れることで、自然環境のバランスが保たれてきました。トキもこうした場所でえさを食べたり、生活してきました。しかし、さまざまな理由で人の手が入らなくなって荒廃し、自然環境のバランスが崩れてきました。

現在は、多くの人々によって、荒廃した里山や棚田を再生しようとする努力がつつげられています。



使われなくなった水田をビオトープにしたところ



マツ枯れとナラ枯れ

アカマツの木やナラの木が、寄生虫や菌によって枯れてしまう病気が、佐渡島の森林環境に深刻な影響をあたえています。専門家や林業にたずさわる人びとが必死で対策にあたっていますが、これらの病気は現在もまだ拡大を続けています。



ナラ枯れの様子

加茂湖

加茂湖は、新潟県内では最大の湖です。一時は生活排水や化学物質が流れ込んだことで汚染されましたが、今でも比較的きれいな水をたたえています。加茂湖で行われているカキの養殖は、いろいろな意味で加茂湖の水質浄化により効果があるといわれています。



加茂湖と金北山



外来魚の侵入や生きものの乱獲

人間が、ブラックバスやブルーギルという魚を川や沼に放したことで、もともと住んでいた魚や動物が追いやられ、生態系が壊されるようなできごとが起きています。また、佐渡島にだけしかない珍しい生きものを、根こそぎ取って絶滅させてしまうようなできごととも後を絶ちません。こうした人間の心ない行動によって、豊かな生きものの環境を壊してしまい、二度ともとに戻せなくなってしまうこともあるのです。



ブラックバス